



3月22日にお伝えしたとおり、このたびの東北地方太平洋沖地震発生以来、私たちワールドキャンパスインターナショナルとしても、被災地・被災者支援の動き、ならびに原子力発電所事故の推移を注視して参りました。また、同時に、参加申込者と各地協力組織の皆様ともやり取りさせて頂き、今夏のプログラム実施に対するご意向の確認に努めて参りました。

その結果、東日本の皆様からは、原発処理完了の目途がたたず、いまだ余震も続き、加えて停電等の不便が長期的に続くことが予測される中で落ち着いて準備を整え、周辺に協力を求めていくことはやや困難な状況であるというご意見が寄せられました。一方で、西日本の皆様からは、地震も原発問題も特に影響がなく、むしろ被災者を元気づけたり、被災地の復興を支援するような企画を盛り込んで実施したいというご意見を頂きました。

また、参加申込者に対する意向確認によると、大多数の申込者が依然として参加に関心を持っており、むしろ逆に何らかの日本支援のための活動があれば参加したいという問合せも寄せられてきています。

そこで、ここ数日、各地の皆様のご意見を伺いながら再検討した結果、以下のような日程で実施を目指すべく、皆様のご協力のもと、詳細の調整を進めさせて頂いております。

第1セッション：6/23～7/7 長崎県大村市、福岡県大牟田市

第2セッション：7/11～7/25 熊本県荒尾市・熊本市、奈良県宇陀市

第3セッション：7/29～8/12 大阪府吹田市、愛知県豊田市

以上のように、残念ながら今回は東日本での実施を見送らざるを得ない状況になりましたが、ワールドキャンパスとしても、今夏のプログラムにおける各地の企画での被災者・被災地への応援のみならず、被災地の状況を確認しながら直接的な支援プロジェクトの実施も検討しており、その中での東日本各地の皆様のご協力のお申し出もすでに頂いております。

多くの皆様にご心配とご迷惑をおかけ致しますが、ワールドキャンパスとしてのミッションに則り、私たち団体の特性やネットワークを活かして被災者の皆様への支援、被災地ならびに日本の一日も早い復旧のために貢献していきたい

と思っております。皆様におかれましても、ご理解、ご協力を賜りますよう、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 23 年 4 月 7 日

特定非営利活動法人
ワールドキャンパスインターナショナル
理事長 西村紀公